



# **SnapDrive for UNIX**

## でのロールベースアクセス制御の設定

### Snapdrive for Unix

NetApp  
June 20, 2025

# 目次

SnapDrive for UNIX でのロールベースアクセス制御の設定 . . . . .	1
Operations Manager コンソールでの SD-admin の設定 . . . . .	1
コマンドラインインターフェイスを使用した SD-admin の設定 . . . . .	1
ストレージシステムに SD-hostname を追加しています . . . . .	2
CLI を使用してストレージシステムに SD-hostname を追加 . . . . .	3
SnapDrive for UNIX でのユーザクレデンシャルの設定 . . . . .	4
Operations Manager コンソールでアクセスチェックを実行するためのユーザ名の形式 . . . . .	4
ロールベースアクセス制御の設定変数 . . . . .	5

# SnapDrive for UNIX でのロールベースアクセス制御の設定

SnapDrive for UNIX の Role-Based Access Control (RBAC ; ロールベースアクセス制御) を設定するには、さまざまなタスクを完了する必要があります。このタスクは、Operations Manager コンソールまたはコマンドラインインターフェイスを使用して実行できます。

## Operations Manager コンソールでの SD-admin の設定

Operations Manager コンソール管理者は、SD-admin ユーザを作成できます。

Operations Manager コンソール管理者は、グローバルグループ（グローバル「FM/Core.AccessCheck」）でコアアクセスチェックを実行する機能を持つ、SD-admin という名前のユーザを作成します。Operations Manager コンソール管理者が SD-admin ユーザを設定したら、SnapDrive for UNIX 管理者に手動でクレデンシャル情報を送信する必要があります。Operations Manager コンソールを使用してユーザーとロールを設定する方法の詳細については、『Operations Manager Console Administration guide』およびオンラインヘルプを参照してください。



SD-admin の代わりに任意の名前を使用できますが、SD-admin を使用することをお勧めします。

Operations Manager コンソールでロールを作成するには、\* Setup \* > \* Roles \* を選択します。SD-admin 設定ページでは、Operations Manager コンソール管理者はグローバルグループの「DFM-Database.Write」機能を SD-admin-role に割り当てる必要があります。これにより、SnapDrive for UNIX が Operations Manager コンソールでストレージエンティティを更新できるようになります。

## コマンドラインインターフェイスを使用した SD-admin の設定

ストレージシステム管理者は、コマンドラインインターフェイスを使用して SD-admin ユーザを設定できます。

手順

1. SD-admin という名前のユーザーを追加します。

```
# useradd sd-admin
```

```
# passwd sd-admin
Changing password for sd-admin.
New password:
Re-enter new password:
Password changed
```

2. SD-admin という名前の管理者を追加します。

```
# dfm user add sd-admin  
Added administrator sd-admin.
```

3. SD-admin-role という名前のロールを作成します。

```
# dfm role create sd-admin-role  
Created role sd-admin-role.
```

4. 手順 3 で作成したロールに機能を追加します。

```
# dfm role add sd-admin-role DFM.Core.AccessCheck Global  
Added 1 capability to role sd-admin-role.
```

5. Operations Manager 管理者は、グローバルグループの「DFM.Database.Write」機能を「<SD-admin>」に付与して、SnapDrive for UNIX が Operations Manager のストレージシステムエンティティを更新できるようにすることもできます。

```
# dfm role add sd-admin-role DFM.Database.Write Global  
Added 1 capability to role sd-admin-role.
```

6. SD-admin ユーザーに SD-admin-role ロールを追加します。

```
# dfm user role set sd-admin sd-admin-role  
Set 1 role for administrator sd-admin.
```

## ストレージシステムに **SD-hostname** を追加しています

Operations Manager コンソールの管理者は、Operations Manager コンソールを使用して、ストレージシステムに SD-hostname ユーザを作成できます。手順の完了後、Operations Manager コンソール管理者は手動で SnapDrive for UNIX 管理者にクレデンシャルを送信する必要があります。SD-hostname の代わりに任意の名前を使用できますが、SD-hostname を使用することをお勧めします。

### 手順

1. ストレージ・システムの root パスワードを取得し、パスワードを保管します。

ストレージ・システムのパスワードを追加するには、\* Management \* > \* Storage System \* を選択します。

2. UNIX システムごとに SD-hostname ユーザーを作成します。

3. 機能「api-\*」と「login-\*」を、 SD- ロールなどのロールに割り当てます。
4. このロール（sd-role）を、 sd-usergroup などの新しいユーザグループに含めます。
5. このユーザグループ（sd-usergroup）をストレージシステム上の sd-hostname ユーザに関連付けます。

## CLI を使用してストレージシステムに **SD-hostname** を追加

ストレージシステム管理者は、 useradmin コマンドを使用して SD-hostname ユーザを作成し、設定できます。

手順

1. ストレージを追加します

```
# dfm host add storage_array1
Added host storage_array1.lab.eng.btc.xyz.in
```

2. ホストのパスワードを設定します。

```
# dfm host password save -u root -p xxxxxxxx storage_array1
Changed login for host storage_array1.lab.eng.btc.xyz.in to root.
Changed Password for host storage_array1.lab.eng.xyz.netapp
.in
```

3. ホストにロールを作成します。

```
# dfm host role create -h storage_array1 -c "api-*,login-*" sd-unixhost-role
Created role sd-unixhost-role on storage_array1
```

4. ユーザグループを作成します。

```
# dfm host usergroup create -h storage_array1 -r sd-unixhost-role sd-unixhost-ug
Created usergroup sd-unixhost-ug(44) on storage_array1
```

5. ローカルユーザを作成します。

```
# dfm host user create -h storage_array1 -p xxxxxxxx -g sd-unixhost-ug
sd-unixhost
Created local user sd-unixhost on storage_array1
```

# SnapDrive for UNIX でのユーザクレデンシャルの設定

SnapDrive for UNIX 管理者は、Operations Manager コンソール管理者からユーザクレデンシャルを受け取ります。ストレージが適切に動作するためには、これらのユーザクレデンシャルを SnapDrive で設定する必要があります。

## 手順

1. ストレージシステムで SD-admin を設定します。

```
[root]#snapdrive config set -dfm sd-admin ops_mngr_server  
Password for sd-admin:  
Retype password:
```

2. ストレージシステムで SD-hostname を設定します。

```
[root]#snapdrive config set sd-unix_host storage_array1  
Password for sd-unix_host:  
Retype password:
```

3. SnapDrive config list コマンドを使用して、手順 1 と手順 2 を確認します。

user name	appliance name	appliance type
sd-admin	ops_mngr_server	DFM
sd-unix_host	storage_array1	StorageSystem

4. SnapDrive for UNIX で Operations Manager コンソールの Role Based Access Control (RBAC ; 役割ベースのアクセス制御) を使用するように設定するには 'napdrive.conf' ファイルの構成変数 RBAC-method="dfm" を設定します



ユーザ・クレデンシャルは暗号化され、既存の sdupw ファイルに保存されます。以前のファイルのデフォルトの場所は、/opt/NetApp/snapDrive/.sdupw' です。

## Operations Manager コンソールでアクセスチェックを実行するためのユーザ名の形式

SnapDrive for UNIX では、Operations Manager コンソールによるアクセスチェックの実行にユーザ名の形式を使用します。これらの形式は、Network Information System (NIS ; ネットワーク情報システム) とローカルユーザのどちらであるかによって異なります。

SnapDrive for UNIX では、次の形式を使用して、ユーザに特定のタスクの実行が許可されているかどうかを確

認します。

- SnapDrive コマンドを実行している NIS ユーザの場合は 'UNIX 用 SnapDrive は '`<nisdomain>\<username>` の形式を使用します (たとえば 'netapp.com\marc' という形式 )
- UNIX ホスト lnx197-141 のようなローカル・ユーザの場合、 SnapDrive for UNIX は '`<hostname>\<username>`' の形式を使用します (たとえば、「lnx197-141\john」) 。
- UNIX ホストの管理者 ( root ) である場合、 SnapDrive for UNIX は常に管理者をローカルユーザとして扱い、「lnx197-141\root」の形式を使用します。

## ロールベースアクセス制御の設定変数

ロールベースのアクセス制御に関連するさまざまな構成変数は 'napdrive.conf' ファイルで設定する必要があります

変数 ( Variable )	説明
<code>contact-http-dfm -port=808080</code>	Operations Manager コンソールサーバとの通信に使用する HTTP ポートを指定します。デフォルト値は 8088. です。
<code>contact-ssl-dfm -port=8488</code>	Operations Manager コンソールサーバとの通信に使用する SSL ポートを指定します。デフォルト値は 8488. です。
<code>rbac - method=dfm</code>	アクセス制御方式を指定します。指定できる値は「native」と「dfm」です。  値が「native」の場合、アクセスチェックにはアクセス制御ファイル「/vol/vol0/sdprbac/sdhostname.prbac」が使用されます。  値が「dfm」に設定されている場合、 Operations Manager コンソールが前提条件となります。この場合、 SnapDrive for UNIX は Operations Manager コンソールにアクセスチェックを送信します。
<code>rbac キャッシュ =on</code>	SnapDrive for UNIX では、アクセスチェッククエリのキャッシュとそれに対応する結果が保持されます。 SnapDrive for UNIX では、設定されているすべての Operations Manager コンソールサーバが停止した場合にのみ、このキャッシュを使用します。  この値を「オン」に設定してキャッシュを有効にするか、「オフ」に設定して無効にすることができます。デフォルト値は off で、 SnapDrive for UNIX で Operations Manager コンソールを使用し、「RBAC メソッド」の設定変数を「dfm」に設定することができます。

変数 ( Variable )	説明
<code>rbac キャッシュ -timeout</code>	<p>RBAC キャッシュのタイムアウト時間を指定します      これは '_rbac キャッシュが有効になっている場合にのみ適用されますデフォルト値は「24」時間です。</p> <p>SnapDrive for UNIX では、設定されているすべての Operations Manager コンソールサーバが停止した場合にのみ、このキャッシュを使用します。</p>
<code>use-https-to-dFM=on</code>	<p>この変数を使用すると、 SnapDrive for UNIX が Operations Manager コンソールと通信するときに SSL 暗号化（ HTTPS ）を使用するように設定できます。デフォルト値は「オン」です。</p>

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。